

議 長	休憩前に引き続き、会議を再開いたします。
議 長	次に、質問順位4番 10番議員 森脇明美君。
議 長	森脇明美君。
森 脇 議 員	通告に基づきまして一般質問をいたします。 給食センター建て替え事業について伺います。 本町の給食センターは昭和50年に建設され約50年経過しています。近年では毎年のように修繕費や工事費が計上されており、働いている方々の労働環境も厳しくなっています。建て替え時期を早急に示していただきたく建て替え計画の状況について伺います。 まず最初に、昨年9月に質問した際、基本的な整備の方向を示す基本構想を作成するということでしたが、進捗状況と内容を伺います。
議 長	松井教育委員会事務局長。
松 井 教育委員会 事 務 局 長	それでは、ご質問にお答えいたします。 給食センターの整備の進捗状況でございますが、本年8月、基本構想を策定したところでございます。 なお、この基本構想は、関係機関との協議や計画の策定等、今後事業を進めていく上で、基本的な方向性を示す必要があるため策定をしたものでございます。 基本構想の内容でございますが、現在運用している給食センター施設の現状把握、配食数の推移、整備の必要性、こういったことを検討したうえで、基本方針を「わきっこの健やかな成長のために、安心・安全な給食の提供と持続可能な給食センターを整備する」と決めました。 この基本方針に基づき、施設整備の方向性として、次の5項目を掲げております。 1つ目、安心安全で栄養バランスの取れたおいしい給食を提

供する施設、2つ目、適正な施設規模とライフサイクルコストを低減した施設、3つ目、効率的で作業環境に配慮した働きやすい施設、4つ目、食育推進・災害対応・環境影響に配慮した施設、5つ目、新しい給食センターに最も適した事業方式の採用、この5項目でございます。

また、基本構想では、現状規模の900食を提供できる設備を整備することとしたうえで、食品の納入から配食に至る調理工程の中で起こりうる危害を極力少なくするための衛生管理の基準であります「ハサップ」の考え方を取り入れ、ドライ方式の採用など、現在の学校給食管理衛生基準を満たした高度の衛生管理が行える施設とするため、必要敷地面積を2,000平方メートル以上として推定しております。

食物アレルギーへの対応といたしましては、文部科学省発出の学校給食における食物アレルギー対応指針に基づき、適切な対応を行うことができる設備の設置及び手順を検討する予定でございます。

建設候補地の選定でございますが、面積的に可能な用地を数か所リストアップし、重視する点や様々な観点から比較検討することとしております。その後、評価の高い用地について事前調査を行い、問題点等の整理を行ったうえで、優先的に検討する建設候補地の選定を行います。

事業手法でございますが、給食センターは、高度な衛生管理のもと調理を行うという工場的な要素が多い施設でありますことから、多くの自治体において、官民連携の手法を取り入れた方式を採用しております。

事業方式につきましては様々な手法があることから、それぞれのメリット、デメリット等について十分な調査研究を行い、本町の施設の規模や諸条件に応じて最も適切な方式を採用することとしております。

議

長

森脇明美君。

森 脇 議 員

今、丁寧に進捗状況と内容について説明していただきました。これについてはよく理解いたしました。

次に、建て替え事業のため、都市建設課に施設整備室を設置するということでしたが、整備室の人数構成と内容を伺います。

議 長

松井局長。

松 井
教育委員会
事務局 長

令和4年4月に都市建設課内に施設整備室を設置し、教育委員会事務局と連携して基本構想の策定など整備に係る業務を進めております。施設整備室の人員は再任用職員1名を配置しており、2年目を迎えております。業務の内容は新学校給食センター建設に関する事務を担当するものでございます。

議 長

森脇明美君。

森 脇 議 員

その件については理解いたしました。

基本構想では、給食センター建設は何年計画で取り組む予定でしょうか伺います。

議 長

松井局長。

松 井
教育委員会
事務局 長

基本構想でお示ししている計画年数では、今年度を1年目として6か年を見込んでおります。

供用開始のスケジュールは、他自治体の例や、コンサルの意見を参考として、現時点で最も早く供用開始できると想定されるものでございます。

また、このスケジュールは、基本計画の策定以降、設計と施工を一括発注する方式「デザインビルド方式」と申しますが、この方式を採用した場合の想定スケジュールとなります。

それでは、各年度スケジュールの案を申し上げます。

令和5年度につきましては、建設候補地の比較検討及び事前調査と関係省庁との事前協議を行います。

令和 5 年第 5 回(9 月)定例会

令和 6 年度は、整備基本計画の策定を、令和 7 年度は、整備基本計画の公表及び建設場所の公表、デザインビルド方式で実施するための発注支援業務の委託を行います。

令和 8 年度は、実施事業者の公募、審査、業者の決定及び設計業務への着手、インフラ整備を、令和 9 年度は、建築確認申請及び建設工事に着手を、令和 10 年度は、新給食センター竣工、それから、供用開始、このような予定でございます。

なお、このスケジュールは現時点で最も早く供用開始できると想定されているもので、今後、土地選定や資材調達、入札の状況などにより、予定変更が有り得ることをご理解ください。

議 長 森脇明美君。

森 脇 議 員 デザインビルド方式で設計と施工を一括して行い、早くにできるということで、基本構想の計画年数については理解いたしました。それでは、事業費はどのくらいを予定していますか。

議 長 松井局長。

松 井 建設場所によるインフラ費用や施設に採用する設備、あるいは食育や防災、そういった付加的な機能整備をどこまで行うか、これにより、金額が大きく異なってくるため、現時点では試算しておりません。

議 長 森脇明美君。

森 脇 議 員 事業費の件ですが、他の自治体と比べてはどうでしょうか。

議 長 松井局長。

松 井 他の自治体の事業費の例でございますが、これまで視察で調査いたしました施設の内から 3 施設の例を挙げさせていただきます。

まず、福岡県水巻町の水巻町中学校給食センターでございますが、1,000食の提供で、建設費は4億2千万円、給食調理を除いては主だった付帯施設はございません。

次に、同じく福岡県でございますが、遠賀町の食育交流・防災センターでございますが、1,600食の提供で建設費は10億7千万円、こちらの施設につきましては、調理場のほかに会議室、防災備蓄倉庫、こういったものを備えております。

最後に、廿日市市大野学校給食センターでございますが、2,500食の提供で、建設費は11億円でございます。

この施設は、食育のための施設が充実しており、2階から調理室を見下ろすことができるほか、会議室や食育に関する展示通路も設置されております。

このように、付帯施設の有無、それから規模、こういったことにより、必要となる事業費も大きく変わってきます。このあたりもご理解いただきたいと思います。

議長 森脇明美君。

森脇議員 他の自治体の例を挙げていただき、だいたい試算することができると思います。給食事業の運営方法については、公設民営、また公設公営など色々ありますが、基本構想では運営方法は決まったのでしょうか伺います。

議長 松井局長。

松井教育委員会事務局長 運営方法につきましては、現段階では決定しておりません。
ご質問にありますとおり、調理、配送、洗浄などの業務を業者に委託する公設民営方式、それから現状と同様に会計年度任用職員を採用し運営する公設公営方式など運営方法は様々で、それぞれに一長一短がございます。

今後、他の自治体の事例を参考としながら、効率的で安定した給食事業を運営できる最善の方法を検討してまいりたいと思っております。

議 長

森脇明美君。

森 脇 議 員

早期の建設を望み次の質問に移ります。

本町庁舎の改修や建て替えについて伺います。

和木町の庁舎は昭和 5 0 年に建設され、給食センターと同じように約 5 0 年の年月が経っています。平成 2 8 年作成の公共施設等総合管理計画によれば、庁舎は令和元年から車庫や機械室の大規模改修により、災害が発生した時の危機管理に役立てたり、防災管理拠点としての活用ができるよう、部分的な建て替えが計画されていますが、現在の状況と今後の対策について伺います。また、庁舎の外壁や通路も傷みが酷く、バリアフリー化もされておらず、2、3 階へのエレベーターがない状況ですが、今後建て替えが必要ではないか伺います。

まず平成 2 6 年に作成された、庁舎リニューアル計画はなぜ実行されなかったのでしょうか、その理由を伺います。

議 長

渡邊企画総務課長。

渡 邊 企 画
総 務 課 長

今、議員ご指摘のとおり平成 2 6 年に庁舎リニューアル計画策定いたしましたけれども、策定した結果ですね、想定以上の経費、この当時で 7 億を超える試算だったと思いますが、これが掛かることが判明いたしましたので、計画全体としての事業着手を見送っているのが現状でございます。

議 長

森脇明美君。

森 脇 議 員

理由については理解いたしました。

リニューアル計画で主に修繕しようとしたところはどこでしょうか。

また、令和元年から災害時の対応のため、車庫や機械室の大規模改修が計画されていましたが、この大規模改修も実現されませんでした。災害が発生した際、庁舎に災害対策本部が設置されます。その場合、機械室が被災すると発電機能も停止し、

災害対策本部にも影響が出ると思われます。大規模災害はいつ発生するか分かりませんので早急に対応が必要ではないでしょうか。現状と今後の対策について伺います。

議長 渡邊課長。

渡邊企画総務課長 庁舎リニューアル計画は、町役場庁舎に災害が発生した際の司令塔となる防災センターの機能を持つよう整備すると共に、行政サービスの拠点として町民に気持ち良く利用してもらえる庁舎にすることを目的といたしまして、平成27年2月に策定をしております。

この庁舎リニューアル計画の主な改修の計画内容でございますが、各執務室の間取りの変更、高齢者など階段の利用が困難な方へ配慮したバリアフリー対応のエレベーターの設置、高潮等の浸水被害を想定した車庫棟の改築による発電設備・電気設備の高層階への移設などがあげられております。

繰り返しになりますが、いずれも多額の費用を要するため、実施に至っておらず、経年劣化による不具合や破損等への対応を、その時々々の財政状況を勘案しながら、できるところから改修しているのが現状でございます。将来的には建て替えも必要となりますが、日常的・定期的な点検結果や財政状況を踏まえながら、維持補修や長寿命化に努めていきたいと考えております。

また、議員ご指摘のとおり、高潮等の浸水により発電設備が被害を受けた場合は、役場庁舎への災害対策本部の設置には影響が出ることが予想されますが、和木町地域防災計画では、大規模災害により役場庁舎が被災し機能不全となった場合は、蜂ヶ峯総合公園 Bee+交流棟、蜂ヶ峯総合公園の管理棟、こういったところを、災害対策本部として運用することを定めており、そういった事象が発生した際には、災害対策本部活動を移転することとしております。

議長 森脇明美君。

森 協 議 員

最後に、50年近く経過した庁舎はいずれ建て替える必要があります。今後、数年以内に庁舎建て替えの基本計画が必要だと思います。

町長の見解を伺います。

議 長

米本町長。

米 本 町 長

森協議員さんのご質問にお答えをしたいと思います。

現在のこの庁舎は、議員おっしゃられますとおり50年近くが経過しており、耐震性はクリアをしておりますが、各所で不具合が生じている状況でございます。本来であれば計画立案に入ってもいい頃ではあるというふうにも思っているところでございますが、先程のリニューアル計画、7億ものお金を掛ける、新たなところは綺麗かもしれませんけども、それをやったからといってこれから数十年もてるというものではないということが分かりましたので、これは断念をさせていただいたところでございます。

役場庁舎の建て替えは、国・県などの補助金事業の対象とはなっておりませんので、その建て替えには一般財源が必要でありそれは随分と多額なものとなります。近々の課題といたしましては、現在、議員ご質問のとおり給食センターの建て替え事業に取り組んでいるところでございます。こちらの方も大変多額の費用が掛かるというところでございますので、この大規模事業が完了するまでは役場庁舎の建て替えを実施することは現在考えていない状況でございます。

今後は、少しでも財政に影響が小さくなるよう積み立て等を行って準備をしていきたいというふうに考えております。

また願わくは、私ではなく次の代の方が若くて新しい感覚で建て替え計画を立案し建て替えを行っていただければと考えているところでございます。

議 長

森脇明美君。

森 脇 議 員	ただ今、町長の見解を伺いました。 それぞれの公共施設や公共上下水施設も本当老朽化が激しく、財政面も厳しいとは思いますが、民間企業の力を活用し、名案を考え取り組んでいただきたいと思います。 一般質問を終わります。
議 長	再質問ございませんか。
森 脇 議 員	ありません。
議 長	はい。
議 長	再質問がないようですので、以上で森脇明美君の一般質問を終わります。